

## 令和3年度第2回(第217回)隠岐の島町教育委員会会議録

1. 開催日時 令和3年5月27日午前9時30分
2. 開催場所 隠岐の島町役場 3階 303会議室
3. 出席委員 教育長 野津 浩一  
教育委員 野津 幸恵  
教育委員 山下 豊範  
教育委員 常角 敏  
教育委員 谷田 一子
4. 欠席委員 なし
5. その他の出席者 総務学校教育課長 吉田 隆  
社会教育課長 野津 千秋  
中央公民館長 金坂 賢一  
総務学校教育課長補佐 中村 恒一
6. 開会宣言 事務局職員が出席者及び資料の確認をした後、教育長は開会を宣言した。
7. 教育長報告要旨 教育長は前回の教育委員会の会議から本日までの主な事項を報告した。  
－報告要旨－
  - 5月12日、隠岐の島町議会臨時会が開催され選挙後の新たな議長、副議長の選出があった。
  - 5月18日～24日にかけて各小中学校を総務学校教育課長と訪問し、校長、教頭から最近の様子などについて話を聞いた。新年度が始まり、順調にスタートしたのではないかと思う。個別の要望については、また、対応していきたいと考えている。
  - 5月24日、隠岐の島ウルトラマラソン実行委員会が開催され、第15回大会は来年度に延期となったが、今後についての協議や委託業者によるオンラインでのマラソン大会の計画について話があった。
8. 議 事  
【報告1号】 令和2年度隠岐の島町一般会計繰越明許費繰越計算書について
  - 「令和2年度隠岐の島町一般会計繰越明許費繰越計算書について」、事務局職員の説明の後、審議した。－説明要旨－  
(総務学校教育課長) 3月の教育委員会の会議で説明させていただいていたが、その時と少し金額が変更となっている。6月議会で報告する予定である。

－ 質疑応答 －

○ なし

－ 審議結果 －

○ 審議の後、異議なく全員の挙手により承認した。

【報告第2号】 令和2年度隠岐の島町一般会計補正予算(第11号)に関する意見について

○ 報告第2号の「令和2年度隠岐の島町一般会計補正予算(第11号)に関する意見について」事務局職員の説明の後、審議した。

－ 説明要旨 －

(総務学校教育課長、社会教育課長) 令和2年度の予算について、3月末で額が確定した。実績による事業費の減額や財源組替が主な理由となっている。

－ 質疑応答 －

(常角教育委員) 教育指導費の学校司書配置費及び教育振興費の部活動地域指導者活用支援事業の財源が県支出金から一般財源になっているのは何故か。また、他でも地方債と一般財源が同額で組み替えられている事業があるが何故か。

(総務学校教育課長) 例えば学校司書配置費においては、県の交付金を予定し申請していたが残念ながらつかなかった。地方債についても枠があり、財政課で調整した結果、一般財源となった。

(常角教育委員) 学校司書配置事業については、前知事の肝いりで図書活用の充実が図られたと記憶している。知事が変わったからつかなかったとかいうことではないか。

(総務学校教育課長) そういったことはない。我が町では全校配置できているし、図書も出来るだけ充実するように取り組んでおり、最大限見てもらっている。

(野津教育委員) 学校司書の配置については、1、2年前に図書司書も含めた学習支援という大きな枠組みで使っていこうという考えが出てきたと記憶している。図書館の司書として置くのではなく、学習支援の中に含めていく、そういう考え方で子ども読書活動推進事業交付金が減額になったということはないのか。読書活動が減らされるのではと心配していた。

(総務学校教育課長) この件については確認し、後ほど報告する。

－ 審議結果 －

○ 審議の後、異議なく全員の挙手により承認した。

【議第1号】 令和3年度隠岐の島町一般会計補正予算(第2号)について

○ 「令和3年度隠岐の島町一般会計補正予算(第2号)について」、事務局職員の説明の後、審議した。

－ 説明要旨 －

(総務学校教育課長) 令和3年度一般補正予算について、6月議会に上程するものである。議案と議案資料により説明。

高校生の地域留学推進のための高校魅力化支援事業については、内閣府の事業で、隠岐高校において取り組む単年度留学(地域みらい留学 365)の募集に係る費用について内示があったので補正する。

また、小中学校における学校保健特別対策事業の「感染症対策等の学校教育活動継続支援事業」については、国の補助金を受けて感染症対策、学習保障のための用品を揃えていくもので昨年度と同様に国の補助が付くこととなったため、各学校に調査し補正する。

それぞれの事業について議案資料により説明を行った。

－ 質疑応答 －

(山下教育委員) 地域みらい留学 365 について、自分は教育委員の代表で総合振興計画策定のメンバーに入らせていただき、先日は令和2年度の事業評価が始まったところである。ある委員から高校魅力化について実態がわからない、知っている人は分かっているかもしれないが実績も見えてこない。コーディネーターとの意見交換をする場を設けていただきたい。

魅力化が動いてくるとコーディネーターの活動も見えてくる。情報発信という意味で島外の生徒を呼んでくるのはすごく大事で進めていただきたい。また、事業の途中経過も伺いたい。

(総務学校教育課長) コーディネーターには意見交換についての話もしているところである。現状の取り組みを見てもらい意見交換が出来ればよいと思っている。また、隠岐高校に2名配置しており、6年経過しているが中学校から姿が見えないとの声も聞いている。

(常角教育委員) 自分は隠岐高校コンソーシアムの委員になっている。また、学校評議員でもあり隠岐について調べる授業を見る機会があった。コーディネーターはいるが生徒たちが分からないことを調べるのにどこに行けばいいのか情報を持ってない。もっと幅を広げる必要があると評議員会で発言した。コンソーシアムの会議も担当者の頭が固く、もっと周りに頼ればよいと感じた。

(谷田教育委員) 色々な可能性のある取り組みだと感じたが、高校2年生の1年だけだとすごく覚悟がある。隠岐高校でどう受け入れ、生徒に何を掴んで帰ってもらえるのか。地域も含めてどう向き合っていくのかなど、私たちも覚悟を持っていかないと上滑りすることも懸念される。

内閣府が地域振興を狙いとしているとのことだが、基本は教育活動で窓口は教育委員会で統括するのが良いと感じた。

(野津教育委員) いい方向で動いて、町全体で支えていければ留学に来た子どもたちはいい思い出を持ち帰って広げていってくれる。単に全国に募集するのではなく、ピンポイントで姉妹都市に声を掛けるなど今までの繋がりも活かしながらやっていくことも大事ではないかと思う。ただ1年間だけでは中途半端だと感じる。それならば、夏休みの10日間、色々なことを体験して隠岐の良さを感じてもらおうということもあるのではないか。国の事業だということで、勝手なことでもできないと思うが、1年間というのが時間的にどうなのか。

(総務学校教育課長) 教科書やカリキュラムの違いなどの問題もある。今、3年間の留学をしている子は、寮と部活の往復だけで何も経験出来ずにいる。特に1年間だと部活に入らず、地域の方と溶け込めるようなカリキュラムを決めていく。特色として島親とのふれあいに力を入れてメニューを増やしていきたい。

(谷田教育委員) やはり島に来たからには、地域に出て島の人と接して色々な思い出を作っていただきたいし、島の魅力を感じてもらいたいが、高校教育の中で魅力を感じてもらうことが一番である。そこが構築されていないとやって来た高校生に島の魅力を感じてくださいといっても来る高校生に対して失礼だし、何か足りないと感じる。

(山下教育委員) 今まで魅力化コーディネーターと学校、行政がうまく連携が取れてなかった。今回、これをチャンスとしてしっかり計画を立て、連携を取りながら魅力化に繋げていけばよいと思う。

(教育長) 総務学校教育課長も課題として抱えている点であり、皆さんから意見をいただく場面を持ち

ながら進めて行きたい。

－ 審議結果 －

○ 審議の後、全員の挙手により議第1号について原案のとおり議決した。

【議第2号】 隠岐の島町県立高等学校魅力化事業補助金交付要綱の一部改正について

○ 「隠岐の島町県立高等学校魅力化事業補助金交付要綱の一部改正について」、事務局職員の説明の後、審議した。

－ 説明要旨 －

(総務学校教育課長) 先ほど補正予算で説明した単年度留学の事業について、高等学校魅力化事業補助金交付要綱に加えるもので、別表に追加する。

－ 質疑応答 －

○ なし

－ 審議結果 －

○ 審議の後、全員の挙手により議第2号について原案のとおり議決した。

【議第3号】 隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

○ 議第3号「隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について」、事務局職員の説明の後、審議した。

－ 説明要旨 －

(総務学校教育課長) 今回は、各学校のPTAの代表が決まったこと、また、町保健課が保健福祉課となり、今回から栄養士を選出することとしている。なお、学校代表とPTA代表が同じ学校からの選出とならないように調整した。

－ 質疑応答 －

○ なし

－ 審議結果 －

○ 審議の後、異議なく全員の挙手により承認した。

【議第4号】 令和3年度教育行政の方針について

○ 「令和3年度教育行政の方針について」について、事務局職員の説明の後、審議した。

－ 説明要旨 －

別冊「令和3年度教育の方針と事業(案)」について、担当課長よりそれぞれ担当する分野の教育行政の方針の変更点等を中心に説明をおこなった。

休 憩(10:45～10:52)

○ ここで野津教育委員からの図書司書配置費(子ども読書活動推進事業交付金の減額)の質問について、担当者が説明を行った。

(学校教育係阿賀主事) 交付金の減額については、県内の他市町村で学校司書の採用が増えたことで、交付金が県の予算をオーバーしたため、各市町村の割り当てが減額になったものである。島根県では学校図書館に力を入れており、各校に1名の司書配置があるのは全国でも3つの県くらいで、図書の貸し借りだけでなく、図書館を核とした先進的な取り組みが行われている。町としても図書司書

に理解してもらうため研修をしながら進めている。

○ 引き続き、「令和3年度教育行政の方針について」について

－ 質疑応答 －

(常角教育委員) ふるさと教育の推進で竹島学習について、町の竹島対策室との連携はどうしているのか。

(総務学校教育課長) 対策室からは資料やメチのいた島等を活用してもらい学習させていただいている。今後も連携をしていきたい。

(中央公民館長) 公民館としては、分館へ講座を紹介しているが、その紹介の仕方を充実させていくこととしている。

(常角教育委員) 中学生の竹島北方領土作文コンクールで西郷中学校の生徒から自分たちが韓国の主張をよく知らないため学ぶ必要があり、パンフレット、教科書の見直しが必要であるとの内容を書いていた。この生徒の主張を教育者会議では受け入れて、韓国側の主張を入れたパンフレットの改訂版を作る作業に入っており、今年度中には出来る予定である。

昨年作文コンクールに隠岐の3校(うち島後1校)が出品しなかった。指導者が非常に若くなっている、教育事務所を通して社会科部会の研修をしっかりとやる必要がある。竹島学習について少し危惧される場所である。

キャリアパスポート事業があるが、学校教育においては、キャリアをいかに積ませるかが重要だ。作文や科学作品展などの色々なコンクールがあり、何か一つでも入賞できるくらい力をつけてあげることがキャリアに繋がる。前にも言ったがキャリアパスポートの最終の目的は、3つあると思っている。「どんな仕事をする人間になるのか。」「どんな家庭を作る人間になるのか。」「社会とどう関わる人間になるのか。」である。10年20年先を考えた時、キャリア教育の中で将来どんな家庭を作るかが非常に重要であり、キャリアパスポートの中にあるべきである。

(常角教育委員) 牛突き習俗については、全体で県の文化財になったが、国の文化財指定への見通しはどうか。

(社会教育課長) 報告書を作成し、提出したところで止まっている。文化庁へ確認はしているが、見通しはたっていない。町長が国に出かけた時に要望してもらうなど努めたい。

(常角教育委員) 国府尾城について、町の指定等はどうなっているのか。

(社会教育課長) 昨年1年間は検討委員会が開けていない。今年7月に開催し、今後の方向性を決めていきたい。

(常角教育委員) 分館補助金、地域活性化交付金が統合されるということだが、分館補助金が上乘せられていくということか。

(中央公民館長) 総額としてはそうなると考えている。

○ 審議の後、全員の挙手により議第4号について原案のとおり議決した。

## 9. そ の 他

【令和3年度第3回教育委員会の開催日時について】

○令和3年度第3回、来月6月の教育委員会の会議については、事務局職員の提案に異議がなかったため、6月29日火曜日午前9時30分に隠岐の島町役場会議室で開催することとした。

【議事録の確認について】

○令和3年度第1回教育委員会会議録について、委員全員により確認を行った。

10. 閉 会 宣 言 教育長は閉会を宣言した。

11. 閉 会 日 時 令和3年5月27日午前11時15分

12. 会議録作成者 総務係 中村恒一

署名日 令和3年6月9日

隠岐の島町教育委員会 教育長 野津浩一